

少年鑑別所見学 業務や役割学ぶ

青森南高生

鑑別所への理解を深めてもらおうと、青森少年鑑別所（青森市）で2日、高校生を対象にした見学会が開催された。青森南高校の生徒12人が参加し、非行少年らの立ち直りを面接などで支援したり、薬物やSNSとの向き合い方を教えたりしていることを学んだ。

生徒たちは小林美智子所長（47）から業務の説明を受けた後、施設内を見学。堀



真剣に説明を聞く生徒
（2日、青森市で）

には入所者の逃亡を防ぐだけでなく、入所者のプライバシーを保護する役割もあることなどを確かめた。

2年の相川真羽さん（16）は「面会室の中は落ち着く色だった。隅々まで入所者への配慮があると思った」と話した。

見学会は不定期に行われており、見学依頼も随時受け付けている。問い合わせは同鑑別所（017・776・5118）へ。

読売新聞 2025年（令和7年）6月4日（水）掲載

この画像は当該ページに限って読売新聞社が利用を許諾したものです。